

(福) ケアハウス信愛館

秋も深まり、街路樹や庭先に色づく紅葉が私たちの目を楽しませてくれる季節となりました。この季節、日本の風物詩のひとつとして長く愛されてきた「菊(きく)」の花が、あちこちで美しく咲き誇っています。菊は、秋の長い歴史の中で、長寿や繁栄、平和の象徴として、私たちの心に温かさや安らぎをもたらしてきました。菊の花は、静かに、しかし確かに秋の深まりを知らせてくれる存在です。その優雅な姿や、ふわりと漂う香りは、多くの人の心を癒し、自然の恵みや季節の移ろいを感じさせてくれます。

◆十月六日(月)は十五夜でした。十五夜



は、旧暦の八月十五日にあたるお月見の伝統的な行事です。日本では「中秋の名月」とも呼ばれ、お月見団子や栗や里芋など旬の食材を用いた料理を準備しながら秋の豊穣を感謝し、健康や幸せを祈るお祭りです。信愛館でも、旬の食材で秋を感じながらお食事を楽しんでいただきました。

◆十月二十四日(金)は「ヴォーリスの愛した聖書に聴く会」を開催しました。ヴォーリス記念病院チャプレンの中村信雄先生よりメッセージをいただきました。同日、十月度の誕生会です。早稲田美穂姉です。お誕生日、誠におめでとうございます。これからも穏やかな生活を過ごされますようにお支えいたします。今回もヴォーリス記念病院チャプレンの中村信雄先生より誕生者へお祈りをさせていただきました。ありがとうございます。そして入居者



の皆様と一緒に、ささやかですがお祝い膳をお楽しみいただけたことに感謝いたします。

最後になりましたが、十月より新しく二名のスタッフが加わりました。これからも、入居者の皆様がいままでお元気で穏やかに笑顔あふれる毎日をお過ごしいただけるよう努めてまいりたいと思います。

中西 阿耶 報

